

<研究名称>

ベッドサイド情報端末（ユカリアタッチ）導入の効果

<実施責任者及び実施担当者>

実施責任者	所 属	看護部
	職 名	看護副部長
	氏 名	杉山 早苗
実施担当者	所 属	看護情報管理室
	職 名	看護係長
	氏 名	林 裕美

<研究期間>

9月1日～18日

<診療・研究の目的>

ベッドサイド情報端末（ユカリアタッチ）導入により看護業務の効率化やほかの効果があったかを明確にする。また問題点を調査し課題を見出す。

<実施内容（方法）>

対 象：一般病棟勤務の看護師

方 法：

- ・自記式質問用紙を独自に作成した。
- ・属性として、看護師経験年数、勤務部署を質問した。
- ・設問は、①バイタル連携システムの使用頻度（体温測定、血圧測定、酸素飽和度測定、血糖測定）、②導入後の効果（記録時間の短縮、転記ミス防止、入力漏れ防止、タイムリーな入力、患者・多職種との情報共有、業務の効率化）、③満足度（バイタル連携、売店連携）、④メイン画面で一番使用している機能、⑤改善を望むこと、の5項目とした。
- ・回答は項目①「ほぼ使っている」～「全く使っていない」の4件法、項目②「非常にできた」～「できてない」の5件法、項目③「非常に満足」～「不満足」の5件法と理由の自由記載、項目④「アレルギー情報」「時計」「カレンダー」「検査予定」「食事情報」「その他」の選択、項目⑤「測定機器の使いずらさ」「入力作業の煩雑さ」「業務量の増加」「データの反映速度」「画面異常の頻度」「操作速度」「その他」の複数選択と自由記載とした。

- ・項目ごとに単純集計し、経験年数や勤務部署で比較する。

<危険性（副作用）等>

なし

<倫理上問題になると考えられる事項>

特になし

<問い合わせ先>

当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ
〒070-8530

旭川市曙1条1丁目1番1号

旭川赤十字病院

看護情報管理室 林 裕美

TEL 0166-22-8111

FAX 0166-24-4648